

「古代歴史文化賞」記念シンポジウム

悠久の時から学ぶ 未来への光



〈第1部〉 基調講演

「顔が語る古代の歴史
—縄文時代から平安時代まで—」

第8回 古代歴史文化賞 大賞受賞作品

『顔の考古学 -異形の世界史-』（吉川弘文館）

設楽 博己氏（東京大学名誉教授）



〈第2部〉

ぶざんしょうみょう

長谷寺「豊山声明」公演



声明公演イメージ

〈出演〉

長谷寺（真言宗豊山派）
僧侶の皆様

〈第3部〉 パネルディスカッション

「悠久の時から学ぶ未来への光

～古代歴史文化の魅力とその発展～」



作家
安部 龍太郎氏



古代史家
大阪大学准教授
河上 麻由子氏



小学館雑誌「サライ」編集長
三浦 一夫氏



奈良県知事
荒井 正吾

令和5年1月21日(土) 13時30分-16時30分 [13時開場]

奈良県文化会館 国際ホール

〒630-8213 奈良県奈良市登大路町6-2

【主催】奈良県、島根県 【協力】三重県、和歌山県、宮崎県

定員 800名

参加無料（事前申込制）

※申し込み方法は裏面をご覧ください

第1部 基調講演 「顔が語る古代の歴史—縄文時代から平安時代まで—」

第8回 古代歴史文化賞 大賞受賞作品

『顔の考古学—異形の精神史—』(吉川弘文館)

縄文時代の土偶をはじめ仮面・埴輪・土器など、律令時代までの造形物に見られる「鬼」や「イレズミ」といった特異な顔の表現について、その意味と果たした役割、変遷を論考する。そして、各時代の顔の分析・比較から、著者が専門とする弥生時代社会の特色を論じ、さらには現代社会が抱える課題にも通じることを指摘する。

設楽 博己氏 東京大学名誉教授



群馬県生まれ。専門は日本考古学。著書に「弥生再葬墓と社会」(塙書房)、「縄文社会と弥生社会」(敬文舎)、「弥生文化形成論」(橘書房)など。

第2部 長谷寺「豊山声明」公演 —全長約16m「大観音大画軸」出開帳—

声明紹介

「声明」は、お経に節を付けて唱える仏教音楽で、真言宗豊山派の総本山長谷寺で行われているものを「豊山声明」と呼びます。9世紀初めに弘法大師・空海により中国から伝えられ、年中行事として行われる顕密の各種法会に付随して声明が唱えられてきました。伝承に忠実で古体を保っているといわれ、十一面観世音菩薩(ご本尊)の宝前で数百年以上唱える間に力強く華麗な声明として育まれてきました。日本伝統音楽の源流として、今日国内外で高い評価を受けています。今回の公演では、現在の本尊が原寸大で描かれた全長約16mの「十一面観世音菩薩御影大画軸(複製)」が出開帳し、迫力ある大画軸の前にして声明を体験頂けます。

長谷寺紹介

奈良県桜井市初瀬にある真言宗豊山派総本山。朱鳥元(686)年に道明上人が、天武天皇の銅板法華説相図(千仏多宝仏塔/国宝)を西の岡に安置したことがはじまりとされます。江戸幕府の大規模な造営で建立された本堂(国宝)をはじめ、本尊十一面観世音菩薩立像(重要文化財)など、数々の文化財を現在に伝えています。また、四季を通じ「花の御寺」として多くの人々の信仰を集めています。



冬季の長谷寺境内



本尊十一面観世音菩薩御影大画軸(複製)

第3部 パネルディスカッション

「悠久の時から学ぶ未来への光 ～古代歴史文化の魅力とその発展～」

今年度で最後となる「古代歴史文化賞」の締めくくりとして、古代から継承される文化資産が、次世代に継承され未来への発展に繋がっていくかをテーマに、古代史の魅力や面白さなどを、歴史小説作家、古代史家、雑誌編集長といった多様な視点でお話します。

パネリスト



安部 龍太郎氏 (歴史作家)

福岡県生まれ。1990年小説『血の日本史』でデビュー。「天馬、翔ける」で第11回中山義秀文学賞。「等伯」で第148回直木賞受賞。歴史小説を多数執筆。



河上 麻由子氏 (古代史家/大阪大学准教授)

北海道生まれ。専門は古代外交史、仏教史。「古代日中関係史」で第7回古代歴史文化賞優秀作品賞受賞。



三浦 一夫氏 (小学館雑誌「サライ」編集長)

埼玉県生まれ。1992年小学館入社。2008年より「サライ」編集部。2019年に編集長就任。



荒井 正吾 (奈良県知事)

司会 森田 恵美子 フリーアナウンサー

〈申し込み方法〉

ホームページから受付 必要事項を記入しご応募ください。

<https://fs220.xbit.jp/y263/form2/>



FAXから受付 FAX.06-6485-8088 以下の項目を記入しご応募ください。

- 応募者の住所・氏名 ■ 氏名(参加者全員分) ■ 電話番号・FAX番号
- 株式会社小学館集英社プロダクション内「古代歴史文化賞記念シンポジウム係」

往復はがきから受付 以下の項目を記入しご応募ください。

〈往信用-表〉

① 〒530-0002 大阪市北区首根崎新地2-6-12 小学館ビル5F

株式会社小学館集英社プロダクション内「古代歴史文化賞記念シンポジウム係」

〈返信用-表〉 ② 応募者の住所・氏名

〈往信用-裏〉 ③ 郵便番号・住所 ④ 氏名(参加者全員分) ⑤ 電話番号

⑥「令和5年1月21日(土)古代歴史文化賞記念シンポジウム参加」と記入

5300002 ① 株式会社小学館集英社プロダクション内「古代歴史文化賞」記念シンポジウム係	何も記載しないでください
--	--------------

往信用(表)

返信用(裏)

② 応募者の住所 氏名 様	③郵便番号/住所 ④氏名(参加者全員分) ⑤電話番号 ⑥令和5年1月21日(土)古代歴史文化賞記念シンポジウム参加
------------------------	--

返信用(表)

往信用(裏)

〈アクセス〉



【会場アクセス】

近鉄奈良駅 東改札口1番出口を出て東へ徒歩約5分

JR奈良駅 東出口バスターミナルから奈良交通2系統 市内循環バス(外まわり)に乗車し約10分「県庁前」バス停下車 西へ徒歩約2分

〈お問い合わせ先〉TEL.06-6485-8086 [受付時間]平日10:00~17:00

株式会社小学館集英社プロダクション内 古代歴史文化賞記念シンポジウム係

古代歴史文化賞ホームページ

<https://kodai.bunkasho.jp>



締切

〈ホームページ〉……………令和5年1月20日(金) 15:00

〈FAX/往復はがき〉……………令和5年1月18日(水) 必着